

考えてみよう 親と子のふれあい方

「愛は裁かず」
この言葉は伊藤重平氏の言葉です。堀真一郎氏はこれを次のように解説しています。

中学を卒業した後、進学もせず職にも就かないでぶらぶらしている少年がある。毎日、昼すぎまで眠り、夜はオートバイに熱中する。母親は必死に注意し説得するのだが、彼は態度を改めるどころか、ますますエスカレートして、仲間と組んで問題を起こす。母親が世話を焼くと「黙っておれ！」と怒鳴り返す。

悩みはてて自殺まで考える母親に、カウンセラーである伊藤重平は、とにかくその息子をほめなさいと助言する。ほめることがなければほめることを作ってもほめよという。ほめるということは、過去の行為をゆるし、全面的に受容するという意志の表現である。ほめられたとき、人は深い愛を体験する。つまり自分がゆるされ肯定されているのを実感する。そして心を開く。この少年も母親の態度の変化に応じて立ちなおっていく。

多くの子どもはゆるされ愛されるどころか、つねに裁かれ非難されている。少しでも大人の期待や基準からはずれると、叱られ非難され責め立てられる。その結果、子どもは心を閉ざし、問題はますます陰湿なものになっていく。どんな問題児でも、いや問題児であればあるほど、ゆるされ肯定されるという意味での愛が必要なのだ。

「ゆるす愛は」は、ただ単に子どもを立ち直らせるだけではない。ゆるす愛に触れることによって、その子が他人をゆるめるようになる。たとえば、小言ばかりであった親や教師にたいしても、大きな目で見る余裕が出てくる。愛は愛を育てるのだ。そして他人を愛せる人間の育成こそは、なにより大切な教育目標といつてよい。

伊藤重平にとってカウンセリグとは、「相談に来た人をゆるして、その人が他人をゆるめるように援助する」仕事である。

「問題の子どもというものは決してない。あるのは問題の親ばかりである。」
これはロンドンから一五〇キロほどの田舎町にサマーヒルスクールを設立したイギリスの教育家ニールの言葉です。滝内大三氏はこの言葉を次のように解説しています。盗癖のある子どもがある。調べてみると、父と母に争いが絶えない。その不快感から逃れようと、子どもは盗みの快感におぼれている。神経症の子どもがいる。その親もまた神経症である。登校拒否の子どもがいる。それはたいてい、

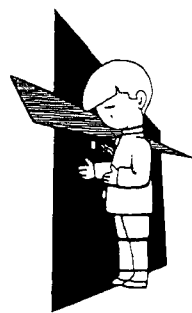
親によって登校を強要された子どもである。勉強ぎらいの子どもがいる。それは勉強を強要する親への反抗である。

こうした親たちは、皆なんらかのコンプレックスをもっている。「子ども達の将来に対してひどく心配する親というのは、多くは自分自身世の中に成功しなかったと感じている親たちである」とニールは書いている。「親は自分の成功しなかったことを、子どもによってとげさせようとする」それほどに、親は自分の子どもを自分と同一化して考える。子どもは自分の分身であり、無意識のうちに自分の理想や願望を子どものなかに見ようとする。それゆえ、「問題の子どもは問題の親の無意識である」

「私はねえ、いつもお前によいようにとばかり考えているのですよ」という親は、そのことばとは反対に子どもを愛するよりも自分を愛している。彼等の偽善が子どもを期待と反対の方向へ連れていく。

今回、前出の二つの言葉、それについてのお二人の解説を載せたのは、子ども達を健全に育成するには、やはり大人（親・教師）自らが自分の日頃のあり方をもっと真剣に考える必要があるのではないだろうかという素朴な思いがあるからです。子ども達を健全に育成しようと思うなら、大人が自分自身を愛し受容しなければ、子どもも愛し受容することはできないのではないのでしょうか。

就学・学習・育児などでお悩みのある方のための 巡回教育相談



面接時刻が通知されますので、子どもを連れて会場においでください。順次、個別に専門の先生が相談に応じます。

主催 県教育委員会・特殊教育センター
後援 市教育委員会・都留市教育相談室

日時 9月13日

午前10時～午後4時

会場 文化会館3階

相談方法 申し込み者には後日、

申込方法 申込用紙が小中学校、幼・保育園、教育相談室（文化会館内）、市役所受付にありますので、必要事項記入の上、文化会館内教育相談室へお申し込みください。

TEL 43 1323

FAX 43 1322

申込期限 8月31日

◎相談は無料です。

◎相談について秘密を守ります。

TEPCO 親子見学会

日時 8月24日
大月 午前7時30分～午後5時30分
都留 午前8時～午後5時30分
集合場所 大月方面 大月駅
都留方面 都留市駅
募集人員 小中学生親子ペアで40組（80名）
①親子2名以上の応募は無効となります。
②中学生は友達ペアでも応募できます。
見学場所 電力館・羽田空港・日本航空整備工場
費用 無料（昼食持参）
申込方法 ハガキに住所、親子氏名、学年、連絡先電話番号記入のうえ下記までご送付ください。（8月10日消印まで有効）
応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
申込先 〒401大月市御太刀2-2-14
東京電力大月営業所見学係
☎(22)2233 内線223